

2011年3月期第2四半期
決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2010年10月

本資料は、米国会計基準による2011年3月期第2四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされており。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2010年10月29日現在のデータに基づき作成されており。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P4)
- 2011年3月期決算の概要(第2四半期、上半期)(P5)
- 収益の内訳(第2四半期、上半期)(P6)
- 営業部門(P7-8)
- アセット・マネジメント部門(P9-10)
- ホールセール部門(P11-13)
- セグメント「その他」(P14)
- 金融費用以外の費用(P15)
- 強固な財務基盤を維持(P16)
- バーゼル3(P17)
- 2011年3月期の主要な取り組み(P18)
- グローバル・マーケット(P19)
- 米国ビジネス(P20)
- インベストメント・バンキング(P21-22)
- 足元と今後の見通し(P23)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P25)
- バリュー・アット・リスク(P26)
- 連結決算概要(P27)
- 連結損益(P28)
- 連結決算：主な収益の内訳(P29)
- 連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)(P30)
- 営業部門関連データ(P31-35)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P36-37)
- ホールセール部門関連データ(P38-39)
- 人員数(P40)

エグゼクティブ・サマリー

- 第2四半期の収益は2,756億円(前年同期比:8.1%減、前四半期比:6.1%増)、金融費用を除く費用は2,540億円(前年同期比:6.9%減、前四半期比:0.3%増)、税前利益は216億円(前年同期比:20.9%減、前四半期比:233.8%増)、当期純利益¹は11億円(前年同期比:96.2%減、前四半期比:54.7%減)。
ビジネス・セグメントの税前利益は356億円となり、3部門すべてで税前黒字を計上
- ホールセール部門は、前四半期比50.5%の増収
 - グローバル・マーケットは主要プロダクトで収益が伸長、前四半期比49.7%の増収
 - インベストメント・バンキングは、国内ECMIに加え、アジア・欧州からの収益の伸びにより前四半期比56.3%の増収
- 営業部門は、好調だった前四半期比で20.9%減収となったが、外国債券や海外に投資する投資信託を中心に新規資金が流入
- アセット・マネジメント部門は、投信の国内シェア上昇と投資顧問ビジネスの海外顧客からの受託が伸び、前四半期比6.5%の増収
- 上半期の収益は5,354億円(前年同期比:10.5%減)、金融費用を除く費用は5,074億円(前年同期比:6.0%減)、税前利益は281億円(前年同期比:52.2%減)、当期純利益¹は34億円(前年同期比:91.4%減)
- 新たな規制環境下にも対応できる、強固な財務基盤と十分な資本レベル
 - 2010年9月末現在、Tier 1比率は16.5%、Tier 1コモン比率は16.4%
 - バーゼルIIIを適用した場合のTier 1コモン比率(2013年3月末時点)は12%程度を想定
- 今期中間配当は、一株当たり4円

(1) 野村ホールディングス株主に帰属する純利益

2011年3月期決算の概要(第2四半期、上半期)

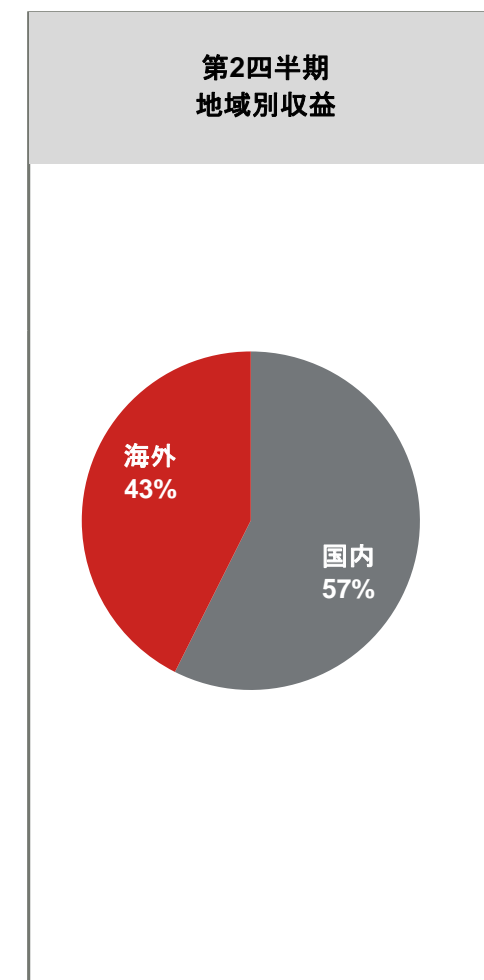
決算のポイント

	2011年3月期第2四半期			2011年3月期上半期		第2四半期 税前利益(補足)
	2011年3月期 第2四半期	前四半 期比 (%)	前年 同期比 (%)	2011年3月期 上半期	前年 同期比 (%)	
収益合計 (金融費用控除後)	2,756億円	+6.1%	△8.1%	5,354億円	△10.5%	<p>(億円)</p> <p>税前利益 (ビジネス・セグメント) 356</p> <p>負債の時価評価損 56</p> <p>投資有価証券評価損 50</p> <p>その他 34</p> <p>税前利益 216</p>
金融費用以外の費用	2,540億円	+0.3%	△6.9%	5,074億円	△6.0%	
税前利益	216億円	+233.8%	△20.9%	281億円	△52.2%	
純利益 ¹	11億円	△54.7%	△96.2%	34億円	△91.4%	
ROE ²				0.3%		

(1) 野村ホールディングス株主に帰属する純利益
 (2) 各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

収益の内訳(第2四半期、上半期)

	2011年3月期第2四半期			2011年3月期上半期	
	2011年3月期 第2四半期	前四半 期比 (%)	前年 同期比 (%)	2011年3月期 上半期	前年 同期比 (%)
営業部門	878億円	△20.9%	△5.8%	1,987億円	+5.4%
アセット・マネジメント部門	193億円	+6.5%	+17.2%	374億円	+6.6%
ホールセール部門	1,634億円	+50.5%	△18.0%	2,720億円	△33.8%
3セグメント合計	2,705億円	+13.8%	△12.4%	5,081億円	△19.9%
その他 ¹	101億円	△69.0%	-	429億円	-
営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	△50億円	-	-	△156億円	-
収益合計 (金融費用控除後)	2,756億円	+6.1%	△8.1%	5,354億円	△10.5%



(1) 「その他」には、負債の時価評価損56億円を含む

営業部門

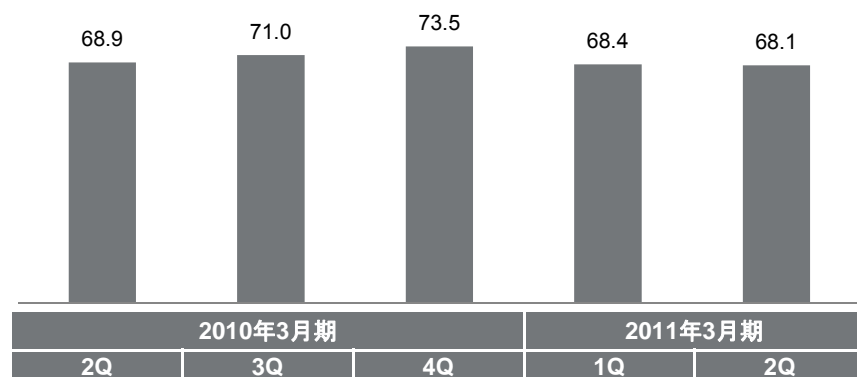
収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2010年3月期			2011年3月期		
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
収益合計(金融費用控除後)	93.2	104.3	95.5	111.0		87.8
金融費用以外の費用	66.8	69.1	71.5	73.2		65.0
税前利益	26.4	35.2	24.0	37.7		22.8

顧客資産残高

重要業績評価指標(KPI)
(兆円)



決算のポイント

- 収益: 878億円(前四半期比20.9%減、前年同期比5.8%減)
- 税前利益: 228億円(前四半期比39.6%減、前年同期比13.6%減)

- 円高の進行、方向感の定まらない株式マーケットにより、投資家のアクティビティが低迷する厳しい環境
- このような厳しい環境においても、主要プロダクトである投信、外債販売において資金流入が継続し、資産純増となる

- 顧客基盤
 - 顧客資産残高 68.1兆円
 - 残あり顧客口座数 492.3万口座

- 主な投信販売額
 - 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 4,263億円
 - 野村米国ハイ・イールド債券投信 2,101億円
 - 野村グローバルCB投信 1,200億円

- その他の販売状況(2Q計)
 - IPO、PO 4,269億円
 - 外債販売額 4,376億円

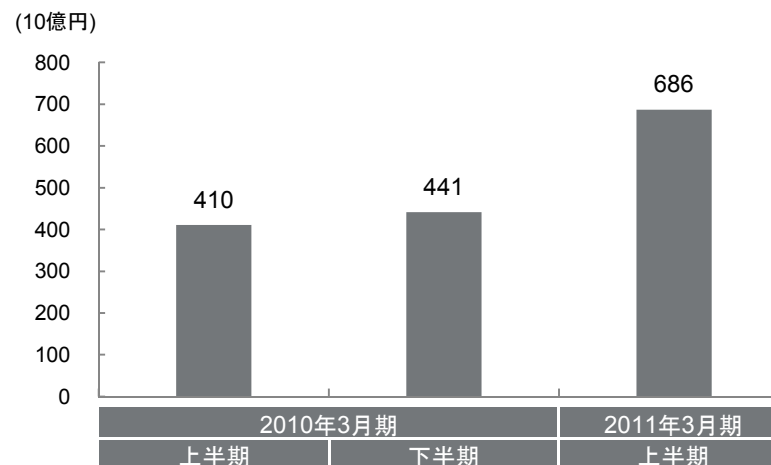
営業部門: お客様のニーズに合わせた商品の多様化を進める

厳しい環境の中で総募集買付額は減少するも、資金の流入は継続

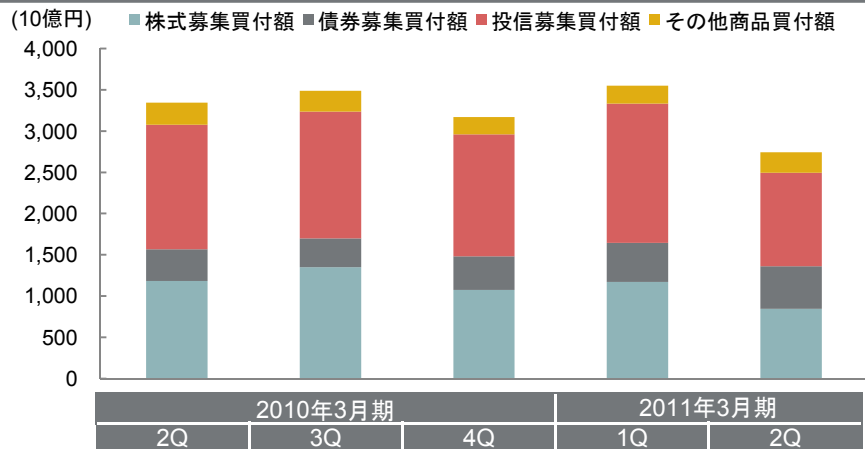
日経平均株価と株式売買代金



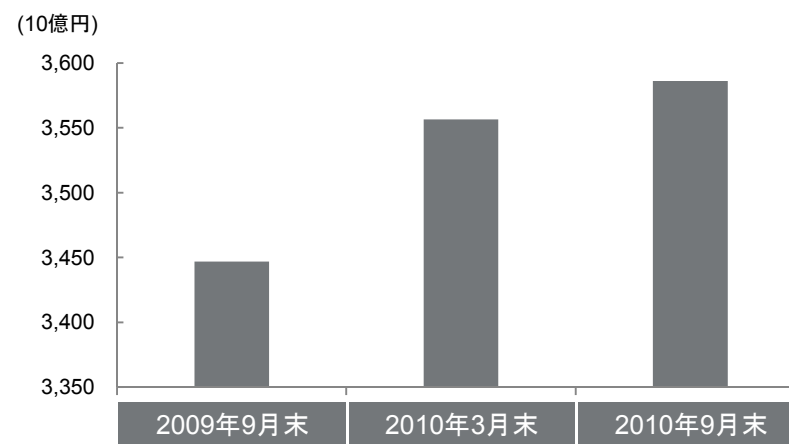
投信純増¹



総募集買付額



外債残高¹



(1) リテール・チャネルのみ

アセット・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

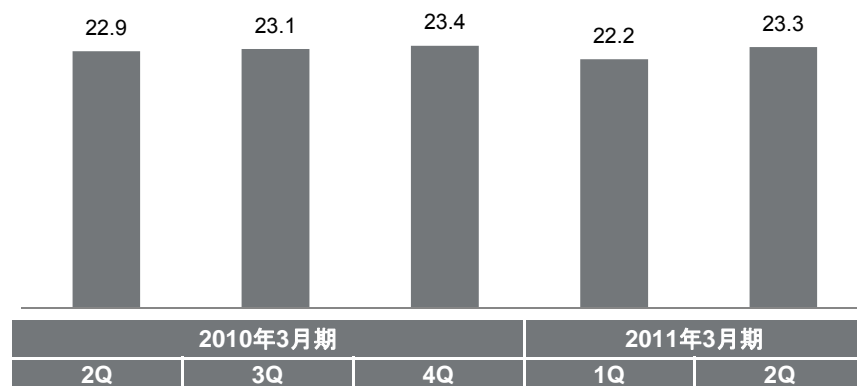
(10億円)

	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計(金融費用控除後)	16.5	17.2	18.0	18.1	19.3
金融費用以外の費用	12.0	13.2	13.1	13.2	14.1
税前利益	4.5	4.1	4.9	4.9	5.2

運用資産残高

重要業績評価指標(KPI)

(兆円)



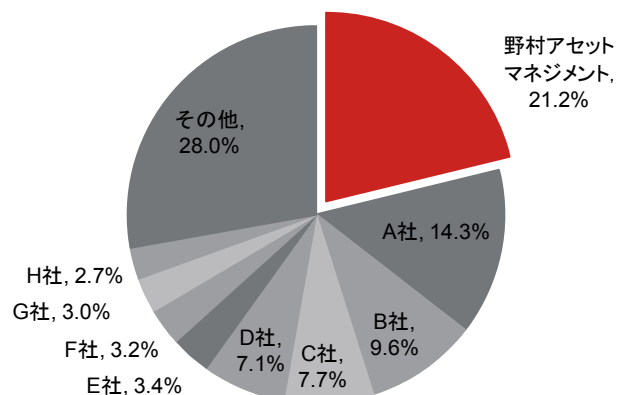
決算のポイント

- 収益: 193億円(前四半期比6.5%増、前年同期比17.2%増)
- 税前利益: 52億円(前四半期比6.6%増、前年同期比16.7%増)
- 9月末の運用資産残高は、6月末比1.1兆円増の23.3兆円。投資信託への資金流入と、海外投資顧問ビジネスが貢献
- 公募株式投信(除:ETF)の資金流入は約4,400億円
- 投資顧問では、海外顧客からの増額・新規受託が順調に推移
- 「NASDAQ-100指数」および「ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価」を連動対象とするETFを日本で新規上場

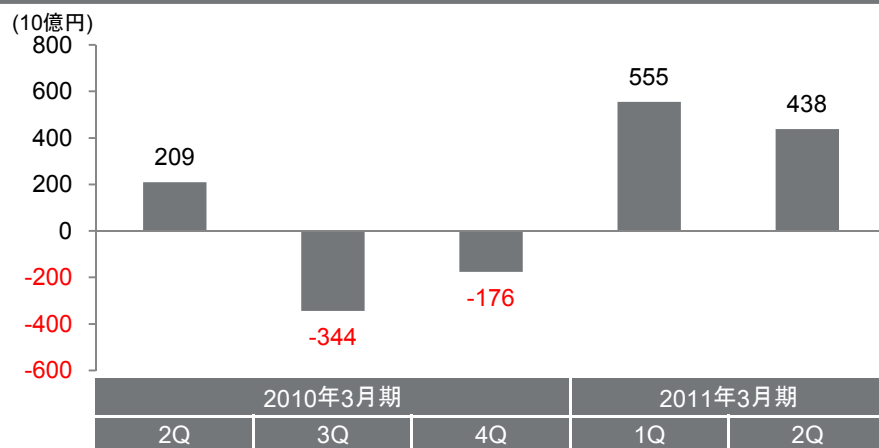
アセット・マネジメント部門：投信、投資顧問共にビジネスが拡大

投資信託ビジネスは、堅調に推移

公募投信シェア(2010年9月末)^{1,2}



公募株式投信(除:ETF)資金流出入¹



投資顧問ビジネスは、海外顧客からの受託が好調

内外機関投資家へ多様な運用プロダクトを提供

- 欧州、アジアを中心に、年金、金融機関、政府系機関など幅広い投資家から新規受託・増額
- 日本株、アジア株、グローバル債券などの他、シャリア運用(株式)でマニデートを獲得
- ベンチマーク型に加えて、絶対リターン追求型、ポータブルα型の運用商品を提供
- 欧州の統一規格であるUCITS³適合ファンドが増加

ETF商品のラインアップが充実

- 「NEXT FUNDS」の新規商品として2本を新規設定、8月16日に上場
 - 「NEXT FUNDS NASDAQ-100®連動型上場投信」(愛称「NASDAQ-100ETF」)
 - 「NEXT FUNDS ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価連動型上場投信」(愛称「NYダウ30種ETF」)
- ETF本数は合計35本に(2010年9月末現在)

NEXT FUNDS

(1) 野村アセットマネジメント単体
 (2) 投資信託協会資料から野村アセットマネジメント作成
 (3) Undertakings for Collective Investment in Transferable Securitiesの略、欧州委員会指令の基準を満たすファンド

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)

	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計(金融費用控除後)	199.3	210.1	168.4	108.6	163.4
金融費用以外の費用	161.1	161.6	133.2	149.8	155.8
税前利益/損失	38.2	48.5	35.2	-41.1	7.6

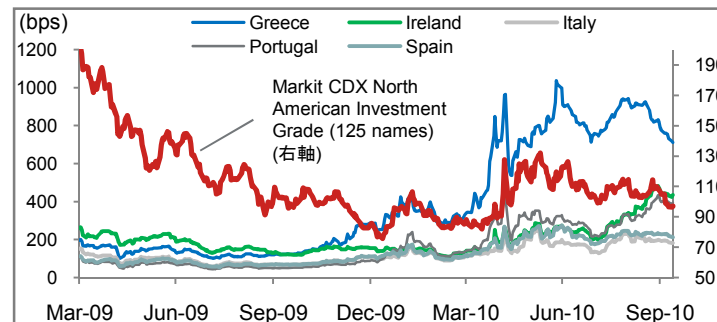
決算のポイント

- 収益: 1,634億円(前四半期比50.5%増、前年同期比18.0%減)
- 税前利益: 76億円(前年同期比80.0%減)
- ホールセール部門は、全てのビジネス・ライン(フィクスト・インカム、エクイティ、インベストメント・バンキング)で、前四半期比、増収
 - グローバル・マーケッツは、第2四半期後半からの顧客フロービジネスの回復により、増収
 - インベストメント・バンキングでは、日本のECMビジネスの強みにより増収、M&A案件の獲得も増加
- 米国の立ち上げがほぼ完了、顧客基盤が順調に拡大

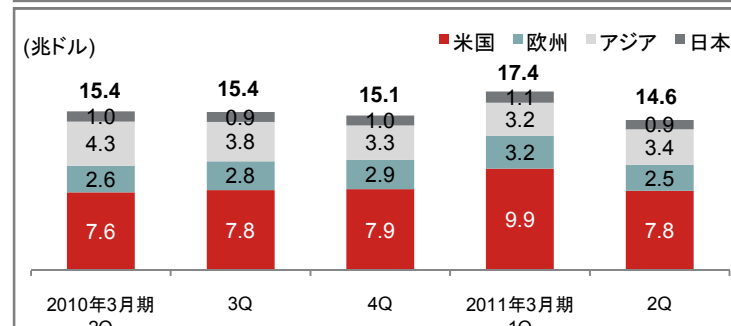
(1) 出所: Bloomberg
 (2) 出所: 国際取引所連盟(WFE)
 (3) 出所: Dealogic;、2010YTDは2010年10月26日現在

市場環境

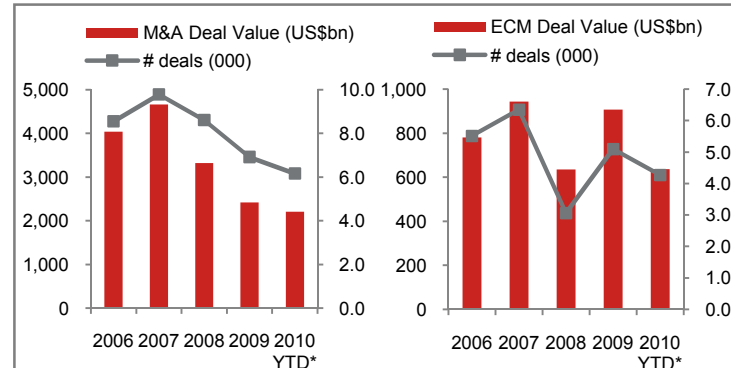
北米社債
スプレッドと
GIIPS各国
のCDS
スプレッド¹



株式売買
代金²



グローバル
M&A, ECM
取引額の
トレンド³



ホールセール部門(グローバル・マーケット)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

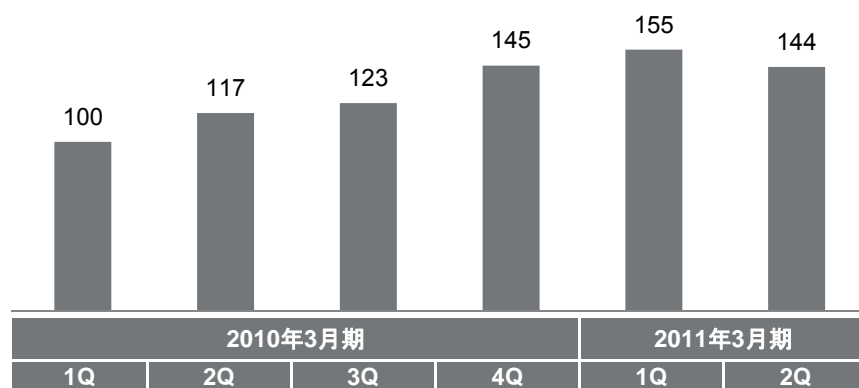
(10億円)

	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
フィクスト・インカム	76.6	70.5	55.6	41.0	77.8
エクイティ	93.4	90.1	76.5	46.3	55.2
その他	4.6	3.2	0.9	9.2	11.4
収益合計(金融費用控除後)	174.5	163.9	133.0	96.4	144.4
金融費用以外の費用	127.8	130.8	103.0	122.8	123.2
税前利益/損失	46.7	33.1	30.0	-26.3	21.1

顧客フローからの収益

重要業績評価指標(KPI)

(2010年3月期第1四半期を100として指数化)



決算のポイント

- 収益: 1,444億円(前四半期比49.7%増、前年同期比17.3%減)
- 税前利益: 211億円(前年同期比54.7%減)

<フィクスト・インカム>

- 8月後半以降、ボラティリティを伴い市場ボリュームが増加。顧客フロー・ビジネスを中心に収益が伸び、昨年第1四半期以来の高水準
 - 金利、クレジット、証券化商品、為替の各プロダクトで収益が伸長
 - 米国ビジネスからの貢献が増加

<エクイティ>

- 市場環境の落ち着きに伴い、収益は回復傾向
- 一方、世界的な株式売買高低迷により、顧客収益が一時的に伸び悩み、完全には回復しきっていない状況
 - 日本の大型PO案件の引受販売、デリバティブ、CB等の回復が収益に貢献
 - 米国におけるCBチームが早期に立ち上がり、グローバルにおけるトレーディング、リサーチ、セールスの協業体制が整い、取引金額が増加して収益を押し上げ

ホールセール部門(インベストメント・バンキング)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)	2010年3月期			2011年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
インベストメント・バンキング (グロス)	33.2	81.7	43.3	29.0	39.7
その他部門等への アロケーション	12.2	37.2	15.4	13.2	18.7
インベストメント・バンキング (ネット)	20.9	44.5	27.8	15.8	21.1
その他	3.9	1.8	7.6	-3.6	-2.0
収益合計(金融費用控除後)	24.8	46.2	35.5	12.2	19.0
金融費用以外の費用	33.3	30.8	30.2	27.0	32.5
税前利益/損失	-8.5	15.4	5.2	-14.8	-13.5

リーグテーブル²

重要業績評価指標(KPI)

	2010年		2009年	
	1-9月	1-9月	1-9月	1-12月
グローバルECM	9位	10位	10位	9位
グローバルM&A	13位	17位	17位	15位

決算のポイント

- 収益(グロス)¹は397億円(前四半期比36.7%増、前年同期比19.7%増)
- 税前損失: 135億円

- 日本
 - 日本企業関連ECM、M&Aリーグテーブルで共に1位を維持
 - クロス・ボーダー M&Aに付随する為替やディーリング・ソリューションを提供

- 欧州
 - 大型M&A案件のモメンタムが向上
 - 欧州にてSponsor-led leveraged loans bookrunner³ ランキングで1位獲得⁴

- アジア
 - 中国、インド、オーストラリアなどフィープールが大きな市場からのECM、クロスボーダーM&Aの案件を獲得

- 米州
 - 特定のセクターのカバレッジ体制を構築

(注) 2010年10月26日時点のグローバルECMランクは9位、グローバルM&Aランクは13位。日本企業関連ECMシェアは35.7%、M&Aシェアは43.9% (トムソン・ロイター)

(1) 「その他」を除くインベストメント・バンキングのグロス収益

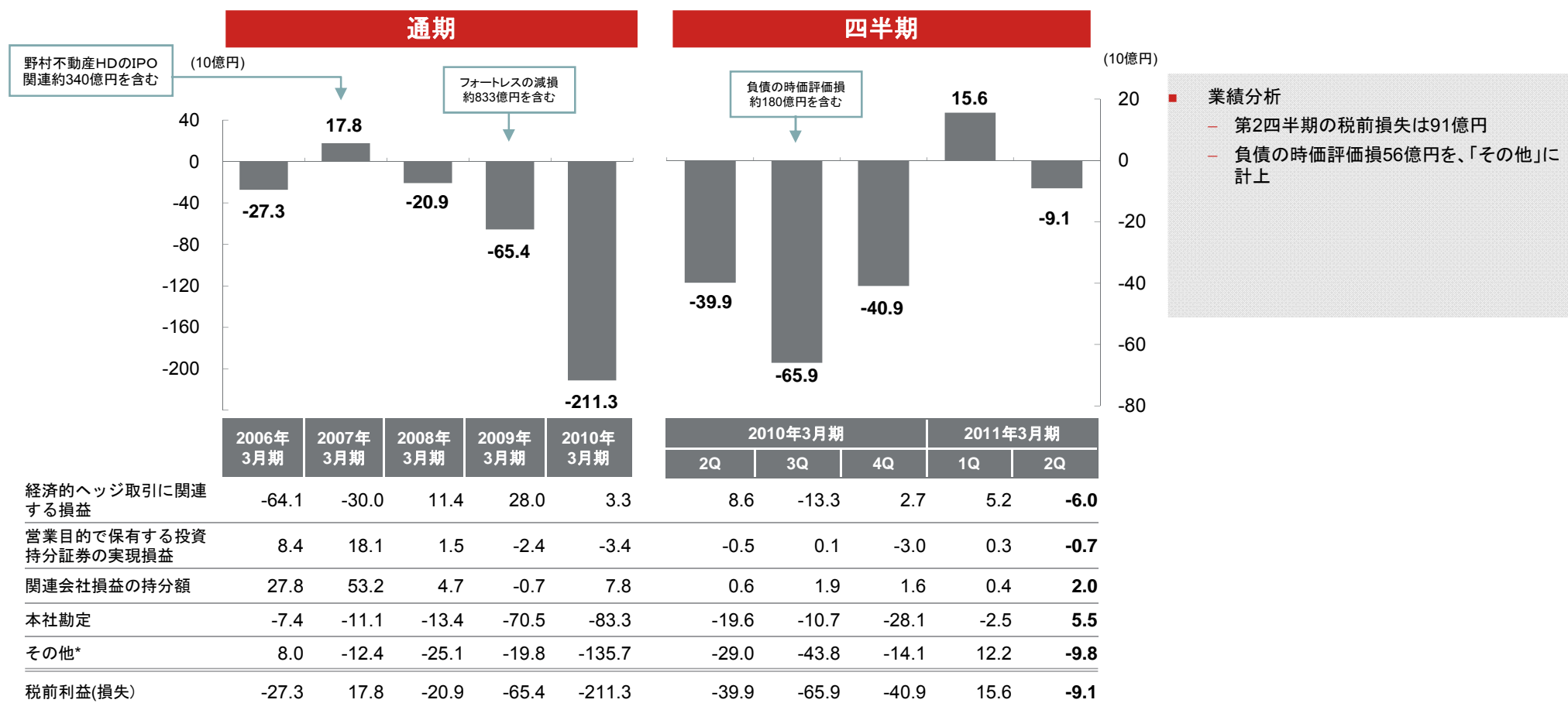
(2) 出所: トムソン・ロイター

(3) Sponsor-led leveraged loans: ファイナンシャル・スポンサー(REITおよびヘッジファンドを除く投資ファンド等)による企業買収に際して供与されるローン

(4) 出所: Bloomberg (2010年1-9月)

セグメント「その他」

税前利益(損失)

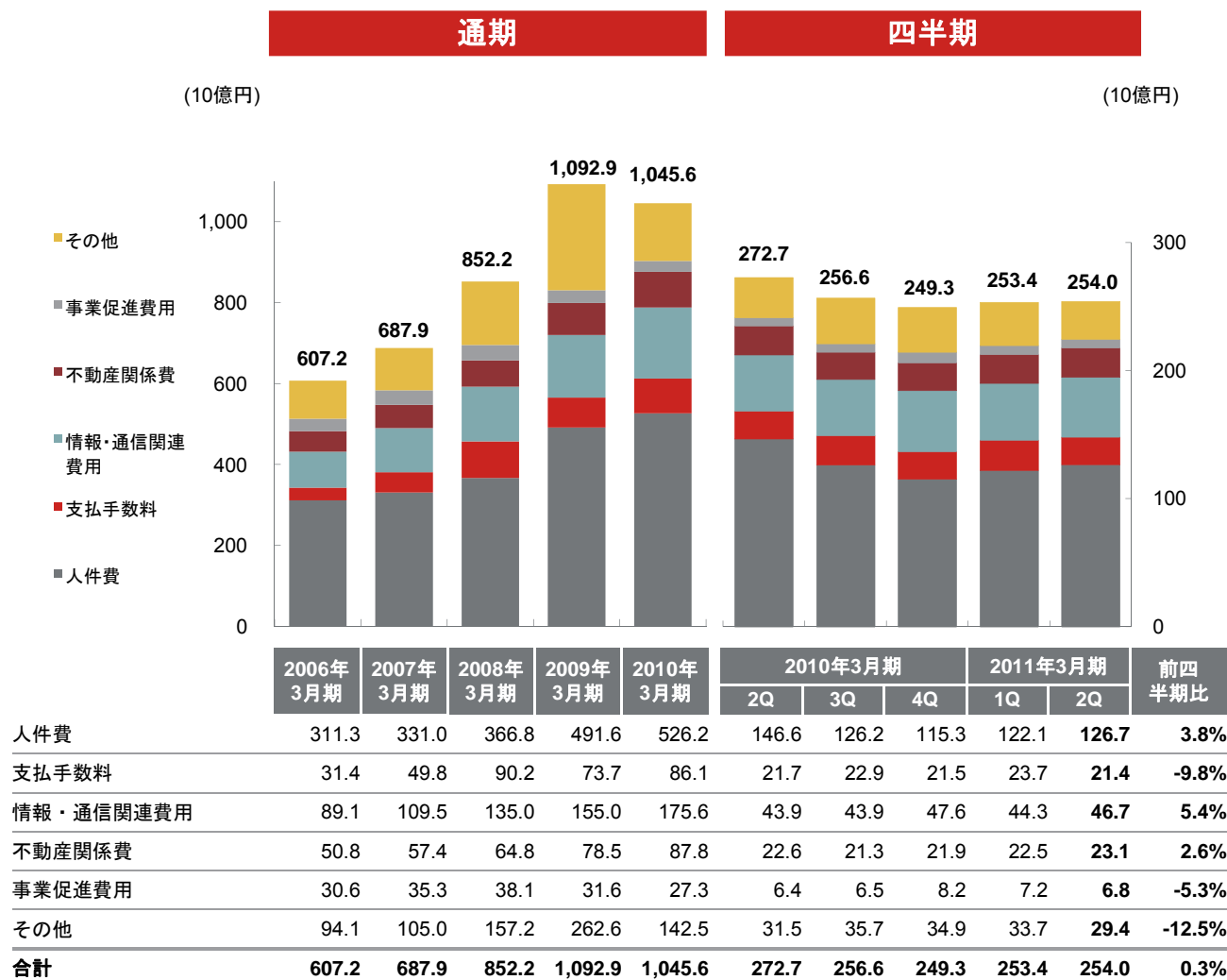


業績分析

- 第2四半期の税前損失は91億円
- 負債の時価評価損56億円を、「その他」に計上

* 3部門に含まれないその他のビジネス(野村信託銀行等)は「その他」に含まれます。
 (1)2009年3月期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスを「その他」のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門と「その他」の損益を過去に遡り組み替えております。
 (2)SFAS160の適用により、非支配持分に帰属する当期純利益(損失)を控除する前の損益を当期純利益(損失)として表示しております。当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。
 (3)従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」を区分して表示しておりましたが、2010年3月期第4四半期より「経済的ヘッジ取引に関連する損益」に改め、従来「その他」に含めておりましたトレーディング損益以外の関連損益もあわせて表示しております。なお、従来「経済的ヘッジ取引に関連するトレーディング損益」に含まれておりました一部の仕組債にかかる自社クレジットの変動による損益を「その他」に振り替えて表示しております。当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。

金融費用以外の費用



- 第2四半期の金融費用以外の費用は2,540億円(前四半期比0.3%増)
- IT関連費用が米国の業務拡大、国内のグローバル・マーケットのビジネス基盤強化等に伴い増加
- 不動産関連費用は、米国の人員増によるフロア拡張、英国のオフィス移転、東京のオフィス移転・統合の一次的費用等の要因で増加
- 経費削減の継続的取り組みにより、事業促進費用などは削減
- 人件費は、人員数の増加があったものの、収益の水準を考慮し、引き続き適切にコントロール

強固な財務基盤を維持

自己資本比率

各種財務指標

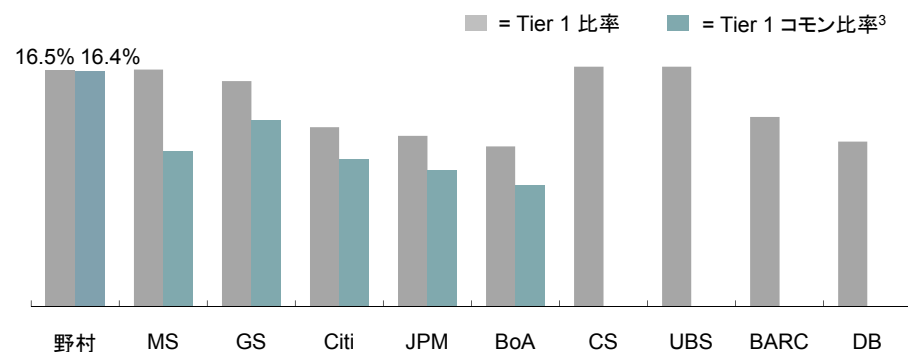
(バランス・シート関連指標)

- 資産合計 34.3兆円
- 株主資本 2.1兆円
- グロス・レバレッジ 16.7倍
調整後レバレッジ 9.8倍
- レベル3資産¹ 約0.9兆円
(デリバティブ負債相殺後)
- 手元流動性 5.4兆円

(速報値)	6月末	9月末
Tier 1	1,986	1,942
Tier 2	500	497
Tier 3	306	289
自己資本合計	2,733	2,671
リスク調整後資産	11,723	11,757
Tier 1 比率	16.9%	16.5%
Tier 1 コモン比率 ³	16.8%	16.4%
自己資本比率	23.3%	22.7%

自己資本比率比較

Tier 1 資本 / リスク調整後資産²



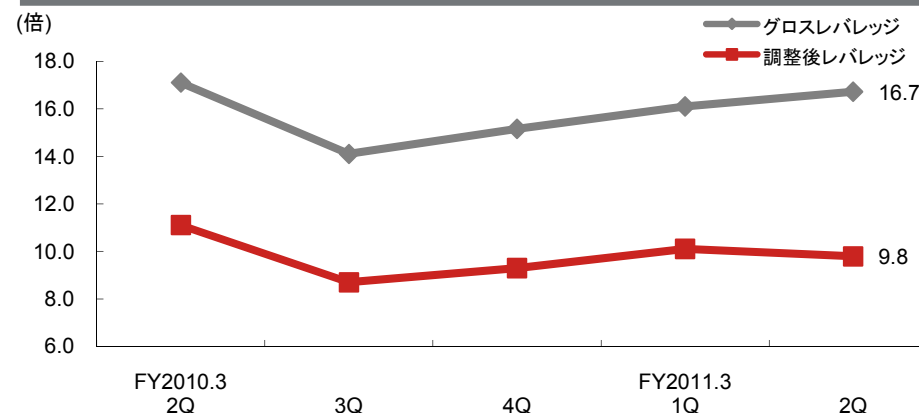
(1) レベル3資産の数値はレビュー前の暫定数値

(2) 9月末現在、但しBarclaysは6月末現在

(3) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本 - ハイブリッド資本 - 非支配持分

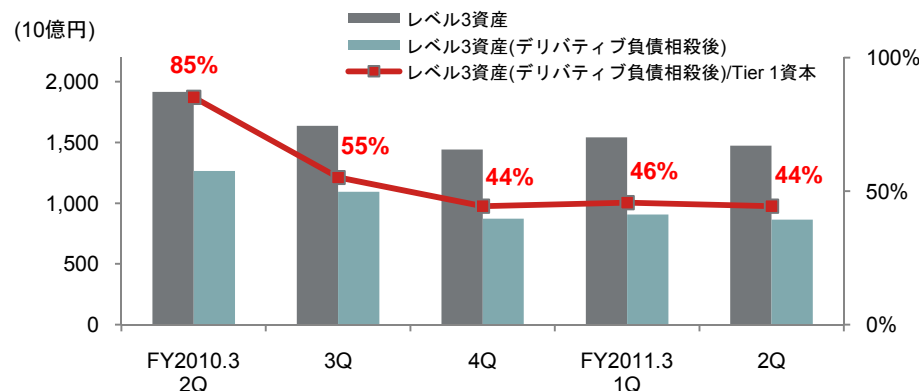
レバレッジ・レシオ推移

グロス・レバレッジおよび調整後レバレッジ



レベル3資産¹

レベル3資産¹の推移と対Tier 1資本比率



バーゼル3

バーゼル3の適用により想定される当社への影響

関連主要項目の当社への影響見通し

■ Tier 1コモン比率

- 継続的な低流動性資産の削減、資産効率の見極めに基づく投資有価証券の削減などを考慮したリスク調整後資産(RWA)は、2013年3月末時点で19兆円程度と想定
- アナリスト予想数値を基にした内部留保の積み上げと、新規制での資本控除を考慮したTier 1コモンは約2.3兆円と想定
- 現在までに明らかになっている規制上の所要水準を大きく上回るTier 1コモン比率を維持できる見込み

■ 流動性規制

- バーゼル3における流動性管理の具体的なルールについては、細目の決定を待たなければならないが、当社は現在示されている管理手法とほぼ同様な基準に基づき流動性を維持しており、新規制での必要額も満たしていける見込み

2013年3月末時点の当社想定値

(単位:10億円)

	2010年9月(実績値)	2013年3月
アナリスト予想による 収益(金融費用控除後)	-	1,370
アナリスト予想による 税前利益	-	260
Tier 1コモン	1,933	2,300 (想定値)
リスク調整後資産	11,757	19,000 (想定値)
Tier 1コモン比率	16.4%	12% (想定値)

2013年3月までのリスク調整後資産に関する主な施策

- 投資有価証券等の削減
- 無格付証券化商品の削減

当社への影響見通しおよび2013年3月末時点の想定値は、2010年10月29日時点の把握可能な情報に基づいて一定の仮定をもとに作成したものであり、将来の数値を確約するものではありません。2013年3月末の想定は、2013年よりバーゼル3が適用になる仮定での試算。2013年3月末のRWAは、2010年9月末の資産内容をもとに、施策の削減項目を考慮した試算。

2011年3月期の主要な取り組み

2011年3月期 ホールセール部門の主要な取り組み(2010年5月インベスターズ・デー資料より)

進捗状況

顧客基盤の拡大

⇒19ページ

重点プロダクトで、マーケット・リーダーたるポジションの獲得を狙う

⇒19ページ

米国ビジネス基盤の立上げにより、グローバル・フランチャイズの確立を図る

⇒20ページ

グローバル・ベースでのM&Aビジネスの拡大

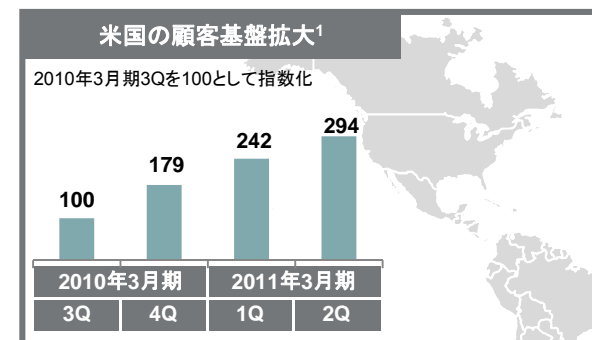
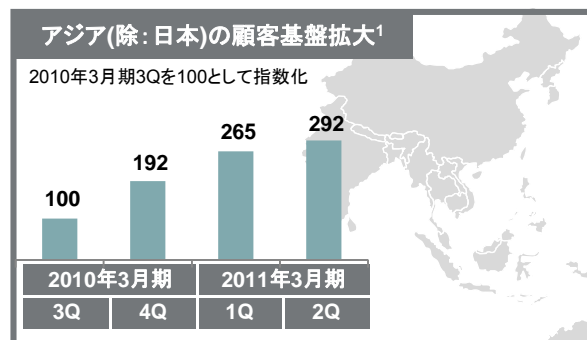
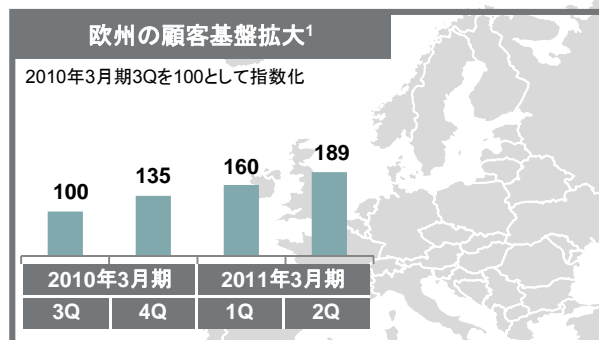
⇒21ページ

グローバル・マーケット／インベストメント・バンキングとの連携促進による収益
機会の拡大

⇒22ページ

グローバル・マーケット: 海外顧客基盤が拡大、 重点プロダクトのマーケット評価も上向き

地域別ISDA口座開設¹と、重点プロダクトの進捗



	日本	欧州	アジア	米国
フィクスト・インカム	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル・クレジット・プロダクト7位 (リスク誌インスティテューショナル・インベスター・ランキング) ■ 金利デリバティブの全インフレ商品で7位、全エキゾチック金利で8位(ユーロマネー誌金利デリバティブ調査) ■ 為替ビジネス・ランキングでグローバル18位と前年の57位から躍進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーロ・デリバティブ8位、前年のランキング圏外から躍進(ユーロマネー誌) ■ Sponsor-led leveraged loans bookrunner² ランキングで1位 (2010年1-9月、ブルームバーグ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア・フィクスト・インカム・リサーチ5位(ファイナンス・アジア) ■ フィクスト・インカム・セールス & トレーディング3位(ファイナンス・アジア誌) ■ アジア・クレジット5位(リスク誌インスティテューショナル・インベスター・ランキング) ■ ベスト・デット・バンク・アジア(グローバル・ファイナンス誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ All American Research Team (フィクスト・インカム) 7位(インスティテューショナル・インベスター誌)
エクイティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東証取引高シェア1位継続 ■ CBランキング1位(第三者機関) ■ 日本リサーチ部門1位(インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロンドン証券取引所の英国株委託売買シェア1位継続 ■ CBランキング5位(第三者機関) ■ 欧州エクイティ・リサーチ部門2位(インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア主要取引所(インド、韓国、香港など)のシェア上昇 ■ 韓国取引所の外資ブローカーでトップ10入り ■ CBランキング1位(第三者機関) ■ 中国調査部門1位(インスティテューショナル・インベスター誌) ■ アジア・エクイティ・リサーチ部門2位(インスティテューショナル・インベスター誌) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2010年4月立上げ後、CBランキング12位(第三者機関)

(1) 新たにISDA口座開設をした顧客数を集計

(2) Sponsor-led leveraged loans: ファイナンス・スポンサー(REITおよびヘッジファンドを除く投資ファンド等)による企業買収に際して供与されるローン

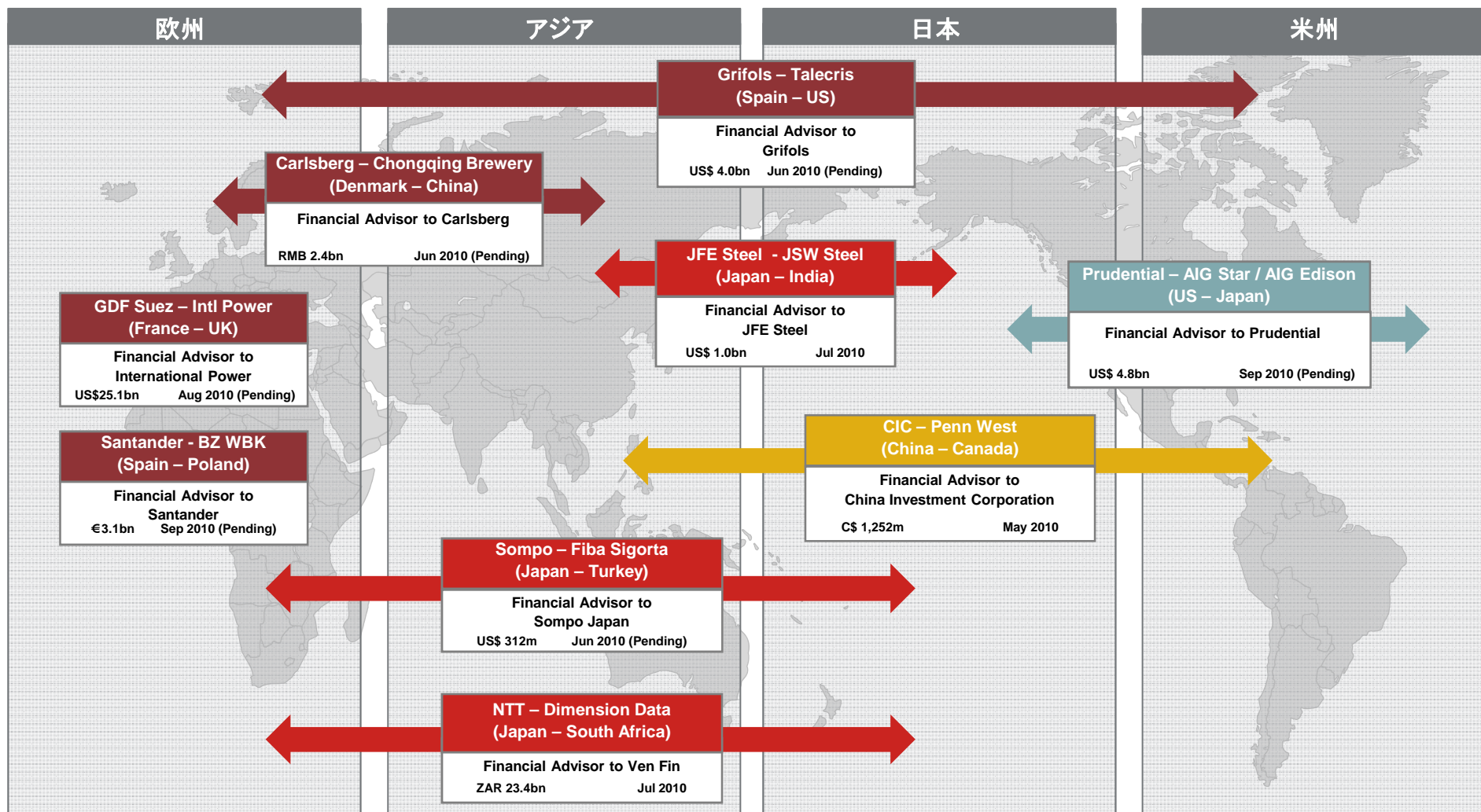
米国ビジネス: モメンタムをともなってビジネスが立ち上がる

	2010年3月期 Q3	Q4	2011年3月期 Q1	Q2	Q3	Q4以降															
フィクスト・インカム	米国プロダクトのフルローンチ		米国基盤の拡大		ビジネスの拡大																
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要4プロダクトが本格的に始動(金利、クレジット、為替、証券化商品) ■ GSE(FNMA, GNMA, FHLB, FHLMC)¹の認定ディーラーに ■ リクイディティー・プロバイダーとして、TradeWeb, DealerWeb, MarketAxessに参加 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客オン・ボーディング数は、2009年初の10倍 ■ 前期末半期と比較し、顧客フローからの収益は50%増、取引高は25%増 ■ インスティテューショナル・インベスター誌のAll American Research Team で7位 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点ビジネスにおけるマーケット・プレゼンス拡大、商品ラインアップ拡充 ■ 既存顧客との取引拡大、顧客オン・ボーディングの推進 ■ 競争力の高い商品とソリューションを提供 																
エクイティ	ビジネス基盤の構築	インフラ整備	プロダクトの拡充		米国プロダクトのフルローンチ																
	<ul style="list-style-type: none"> ■ インターナショナル/ADRトレーディング立上げ ■ プログラム・トレーディング、エクイティ・デリバティブが本格的に始動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電子プロダクト立上げ ■ 米国顧客向けにOTCデリバティブ・トレーディング開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CBビジネス立上げ(4月) ■ アルゴリズム・トレーディングの拡大 ■ エクイティ顧客数²が倍増 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国株のセールス・トレーディング立上げ ■ 米国株の研究が本格的に始動(2010年10月)、営業、トレーディングとの一体化を通じ、収益への貢献を目指す 																
インベストメント・バンキング	ビジネス基盤の構築		カバレッジ体制の立上げ		ビジネスの拡大																
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米州IBヘッドを新たに任命 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 重点セクターにおけるカバレッジ体制の構築 ■ Grifols(スペイン)によるTalecris(米国)の買収、Prudential Financial(米国)によるAIGエジソン生命及びAIGスター生命の買収におけるアドバイザー ■ 3件のソリューション案件に関与 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 主要セクターやスポンサー向けのビジネスに注力 ■ グローバル連携を活かし収益機会を拡大 ■ グローバル・マーケットとの連携のもと、ソリューション・ビジネスの拡大 																
人員数とグローバル・マーケットの顧客基盤の拡大	<p>■ 顧客数(グローバル・マーケット)² (2010年3月期Q3を100として指数化)</p> <p>● 米国の人員数(合計)³</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>四半期</th> <th>顧客数(グローバル・マーケット)</th> <th>米国の人員数(合計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2010年3月期 Q3</td> <td>100</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>2010年4月期 Q4</td> <td>130</td> <td>1,296</td> </tr> <tr> <td>2011年3月期 Q1</td> <td>135</td> <td>1,455</td> </tr> <tr> <td>2011年4月期 Q2</td> <td>146</td> <td>1,725</td> </tr> </tbody> </table>						四半期	顧客数(グローバル・マーケット)	米国の人員数(合計)	2010年3月期 Q3	100	1,160	2010年4月期 Q4	130	1,296	2011年3月期 Q1	135	1,455	2011年4月期 Q2	146	1,725
四半期	顧客数(グローバル・マーケット)	米国の人員数(合計)																			
2010年3月期 Q3	100	1,160																			
2010年4月期 Q4	130	1,296																			
2011年3月期 Q1	135	1,455																			
2011年4月期 Q2	146	1,725																			

(1) GSE=Government Sponsored Entity, FNMA= Federal National Mortgage Association(連邦住宅抵当公庫、ファニーメイ)、GNMA= Government National Mortgage Association(連邦政府抵当金庫、ジニーメイ)、FHLB= Federal Home Loan Bank (連邦住宅貸付銀行)、FHLMC= Federal Home Loan Mortgage Corporation(連邦住宅金融抵当金庫、フレディマック)
 (2) 各四半期において取引実績のある顧客数を集計 (3) Instinet, NOMURA ASSET MANAGEMENT U.S.A. INC.を除く

インベストメント・バンキング：クロス・ボーダー案件の実績

2011年3月期上半期 主なクロス・ボーダー案件



インベストメント・バンキング:新しいビジネス機会の拡大

クロス・ディビジョナルな取り組みで多様なディールを実現

グローバル・マーケット	インベストメント・バンキング
<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネス基盤と顧客基盤の拡大 ■ トレーディング、セールス、リサーチのグローバル展開 ■ クレジット・トレーディング・チームの立上げ ■ 米国でのディストリビューション力の強化 ■ シンジケート機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客カバレッジのフォーカス ■ グローバル連携の強化 ■ 米国、中国、オーストラリア、インドのプラットフォーム拡充 ■ M&A案件に付随するファイナンス、ソリューション・ビジネスの獲得を促進



レバレッジド・ファイナンス (アキュイジション・ファイナンス、ハイ・イールド)	DCM / ECM
<ul style="list-style-type: none"> ■ レバレッジド／アキュイジション・ファイナンス案件の増加 <ul style="list-style-type: none"> ■ Merlin Entertainments / Blackstone / CVC ■ Grifols / Talecris ■ Permira / Birds Eye Iglo Group / Findus Italy ■ Charterhouse / Autoban / CVC ■ 欧州にてSponsor-led leveraged loans¹ ランキングで1位獲得² ■ ハイ・イールド・ビジネスがアジアおよび米国で始動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品提供力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ ベンチマーク債 <ul style="list-style-type: none"> ■ 英国国債 80億ポンド ■ ポーランド グローバル債 15億ドル ■ 国際協力銀行 グローバル債 15億ドル ■ イタリア ベンチマーク債 60億ユーロ ■ インターナショナル CB <ul style="list-style-type: none"> ■ China Unicom CB 18.4億ドル ■ インターナショナル ABB <ul style="list-style-type: none"> ■ Legrand 5.68億ユーロ

(1) Sponsor-led leveraged loans: ファイナンシャル・スポンサー(REITおよびヘッジファンドを除く投資ファンド等)による企業買収に際して供与されるローン
 (2) 出所: Bloomberg (2010年1-9月)

足元と今後の見通し

営業部門

- 10月は、大型POなどが収益に貢献
- 顧客基盤の拡大を通じ、収益の極大化を図る
 - コンサルティング営業の強化により、顧客ニーズに合致した幅広いプロダクトで資産純増を目指す
 - 個人向け国債の大量償還にあわせた商品提供

アセット・マネジメント部門

- 投信ビジネス・投資顧問ビジネスともに、7-9月のモメンタムが継続
- 10月の主な新規投信設定
 - 「野村新中国A株投信」
※QFII(適格外国機関投資家)制度を活用
10/15設定、当初設定額295億円
 - 「野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(通貨選択型)」
10/28設定、当初設定額689億円
- 投資顧問ビジネスでは、内外機関投資家からの幅広い受託拡大を図る
- インド資産運用合弁会社「LIC Nomura Mutual Fund」が事業開始予定

ホールセール部門

グローバル・マーケット

フィクスト・インカム

- 8月後半以降、ボラティリティを伴い市場取引ボリュームは増加顧客フロービジネスには追い風
- 競争力の高いソリューションとエグゼクティブを提供することにより、マーケット・シェア拡大を目指す

エクイティ

- 10月の大型POやソリューション案件が寄与し、第3四半期は順調な滑り出し
- 米国株のリサーチが本格的に始動(2010年10月)、営業、トレーディングとの一体化を通じ、収益への貢献を目指す

インベストメント・バンキング

- 10月も、多くのグローバル主要案件に関与

ECM	東京電力	4,195億円
	AIA(POWL)	1,383億HKドル
	Barclays ABB	10億ドル
DCM	Carlsberg	10億ユーロ
	KFW	40億ドル
	DJO Finance(米国初のHY案件)	3億ドル
	Central China Real Estate(中国初のHY案件)	3億ドル
M&A	Dubai Islamic BankによるTamweelの買収	n.a
	住友重機によるHansen Industrial Transmissionの買収	7,500万ユーロ
	KKRによるPerpetualの買収	17億ドル
	AthenelによるLiberty Life Insuranceの買収	6.28億ドル

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(単位：10億円)

	2010年 3月末	2010年 9月末	前期比増減		2010年 3月末	2010年 9月末	前期比増減
資産				負債			
現金・預金	1,352	945	-407	短期借入	1,302	1,173	-128
貸付金および受取債権	2,072	1,896	-176	支払債務および受入預金	1,528	1,580	52
担保付契約	12,467	14,216	1,749	担保付調達	11,216	12,497	1,281
トレーディング資産および プライベート・エクイティ投資*	14,700	15,442	742	トレーディング負債	8,357	8,575	218
その他の資産	1,639	1,798	159	その他の負債	495	425	-70
資産合計	32,230	34,296	2,066	長期借入	7,199	7,985	786
				負債合計	30,097	32,236	2,138
				資本			
				野村ホールディングス株主資本合計	2,127	2,052	-75
				非支配持分	6	9	3
				負債および資本合計	32,230	34,296	2,066

*担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準: 片側検定99%(2.33標準偏差)
- 保有期間: 1日
- 商品間の価格変動の相関を考慮

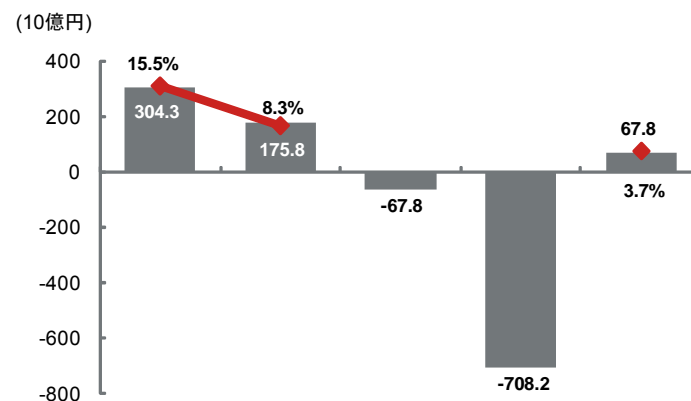
■ VaRの実績 (単位: 10億円)

- 期間: 10.4.1~10.9.30
- 最大: 13.6
- 最小: 8.6
- 平均: 10.4

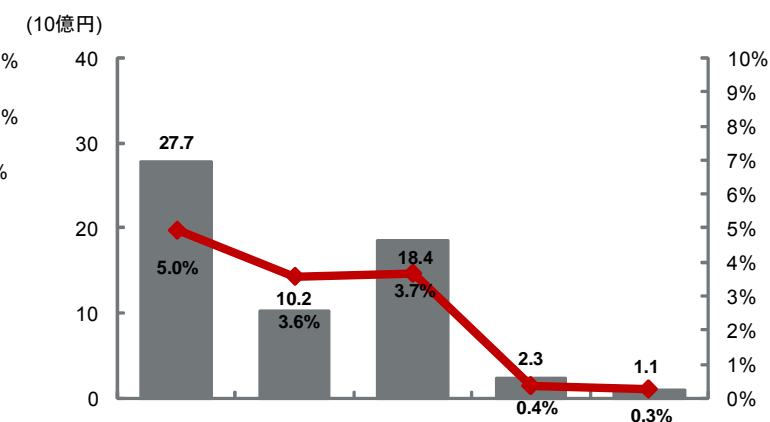
(10億円)	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末	2010年 9月末
株式関連	6.0	4.7	4.2	3.8	2.6	2.0	2.2
金利関連	3.3	3.7	4.7	6.7	4.4	4.2	4.6
為替関連	1.4	1.4	8.0	8.7	10.5	7.6	6.7
小計	10.7	9.8	16.9	19.2	17.5	13.8	13.4
分散効果	-3.7	-3.6	-6.8	-7.5	-5.0	-4.4	-4.0
連結VaR	7.0	6.2	10.1	11.7	12.6	9.4	9.4

連結決算概要

通期



四半期



	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,145.7	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8
税引前当期純利益(損失)	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)	304.3	175.8	-67.8	-708.2	67.8
野村ホールディングス株主資本合計	2,063.3	2,185.9	1,988.1	1,539.4	2,126.9
ROE(%)*	15.5%	8.3%	-	-	3.7%
野村ホールディングス株主に帰属する基本的一株当たり当期純利益(損失)(円)	159.02	92.25	-35.55	-364.69	21.68
一株当たり株主資本(円)	1,083.19	1,146.23	1,042.60	590.99	579.70

2010年3月期			2011年3月期	
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
300.0	274.5	277.9	259.8	275.6
27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
27.7	10.2	18.4	2.3	1.1
1,615.9	2,109.8	2,126.9	2,101.8	2,051.6
5.0%	3.6%	3.7%	0.4%	0.3%
10.22	2.91	5.02	0.63	0.29
580.96	575.16	579.70	572.10	569.97

* 各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

(1) 従来の当期純利益(損失)を野村ホールディングスに帰属する当期純利益(損失)として表示しております。

連結損益

(単位:10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期	
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益										
委託・投信募集手数料	356.3	337.5	404.7	306.8	395.1	95.4	101.0	96.6	118.1	83.5
投資銀行業務手数料	108.8	99.3	85.1	55.0	121.3	15.6	44.5	31.4	20.4	24.9
アセットマネジメント業務手数料	102.7	146.0	189.7	140.2	132.2	34.0	34.2	33.7	34.9	33.7
トレーディング損益	304.2	290.0	61.7	-128.3	417.4	148.5	66.5	81.3	60.0	103.0
プライベート・エクイティ投資関連損益	12.3	47.6	76.5	-54.8	11.9	2.0	2.3	9.7	-0.9	-1.0
金融収益	693.8	981.3	796.5	331.4	235.3	53.6	67.4	55.9	75.8	70.0
投資持分証券関連損益	67.7	-20.1	-48.7	-25.5	6.0	-2.3	-3.8	2.4	-10.3	-5.7
プライベート・エクイティ投資先企業売上高	88.2	100.1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	58.8	67.4	28.2	39.9	37.5	8.7	9.4	5.2	16.3	12.0
収益合計	1,792.8	2,049.1	1,593.7	664.5	1,356.8	355.5	321.6	316.1	314.0	320.4
金融費用	647.2	958.0	806.5	351.9	205.9	55.4	47.1	38.2	54.2	44.8
収益合計(金融費用控除後)	1,145.7	1,091.1	787.3	312.6	1,150.8	300.0	274.5	277.9	259.8	275.6
金融費用以外の費用	693.7	772.6	852.2	1,092.9	1,045.6	272.7	256.6	249.3	253.4	254.0
税引前当期純利益(損失)(継続事業)	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
税引前当期純利益(非継続事業)	99.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益(損失)	551.4	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(損失)(継続事業)	256.6	175.8	-67.8	-708.2	67.8	27.7	10.2	18.4	2.3	1.1
野村ホールディングス株主に帰属する 当期純利益(非継続事業)	47.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野村ホールディングス株主に帰属する当期純利益(損失)	304.3	175.8	-67.8	-708.2	67.8	27.7	10.2	18.4	2.3	1.1

注:当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。

連結決算：主な収益の内訳

(単位：10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	153.6	98.3	75.1	50.8	55.3	14.7	12.3	12.5	13.7	8.7
	株式委託手数料(その他)	79.5	73.2	166.6	144.7	140.3	34.5	33.7	33.0	40.3	30.7
	その他委託手数料	14.3	6.8	9.3	7.9	8.0	-0.0	2.6	2.6	2.2	1.8
	投信募集手数料	85.1	120.5	121.2	75.9	165.9	41.3	43.6	41.5	55.7	36.1
	その他	23.8	38.6	32.4	27.5	25.5	5.0	8.8	7.0	6.2	6.2
合計	356.3	337.5	404.7	306.8	395.1	95.4	101.1	96.6	118.1	83.5	
投資銀行 業務手数料	株式	57.3	56.6	32.1	13.2	74.9	7.7	30.4	19.6	8.1	10.1
	債券	21.2	15.3	13.4	11.9	16.6	2.9	6.5	3.5	6.0	8.7
	M&A・財務コンサルティングフィー	30.3	26.7	37.8	26.7	29.2	4.9	7.6	8.2	6.2	5.7
	その他	0.1	0.7	1.8	3.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
	合計	108.8	99.3	85.1	55.0	121.3	15.6	44.5	31.4	20.4	24.9
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	68.5	106.3	150.3	104.1	97.6	26.0	25.5	24.1	25.1	25.1
	アセット残高報酬	20.6	24.0	21.7	21.3	19.4	4.6	4.8	5.4	5.7	5.4
	カストディアルフィー	13.6	15.7	17.7	14.7	15.3	3.4	4.0	4.1	4.0	3.2
	合計	102.7	146.0	189.7	140.2	132.2	34.0	34.2	33.7	34.9	33.7

連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)

(単位:10億円)	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2010年3月期			2011年3月期		
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
営業部門	197.2	160.9	122.3	18.2	113.4	26.4	35.2	24.0	37.7	22.8	
アセット・マネジメント部門	23.8	39.4	34.0	7.4	18.6	4.5	4.1	4.9	4.9	5.2	
ホールセール部門	264.7	156.0	-150.1	-717.3	175.2	38.2	48.5	35.2	-41.1	7.6	
3セグメント合計税前利益(損失)	485.7	356.3	6.2	-691.7	307.1	69.0	87.8	64.1	1.5	35.6	
その他	-33.1	21.0	-20.9	-65.4	-211.3	-39.9	-65.9	-40.9	15.6	-9.1	
セグメント合計税前利益(損失)	452.6	377.3	-14.7	-757.1	95.8	29.1	21.8	23.2	17.1	26.6	
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	59.3	-38.2	-50.2	-23.1	9.4	-1.8	-3.9	5.4	-10.6	-5.0	
プライベート・エクイティ投資先企業等の 連結/連結除外等による影響	-59.9	-21.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
米国会計基準	継続事業	452.0	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6
	非継続事業	99.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	税引前当期純利益(損失)	551.4	318.5	-64.9	-780.3	105.2	27.3	18.0	28.6	6.5	21.6

- (1) 投資有価証券の利益(損失)、関連会社利益(損失)の持分額、長期性資産の減損、本社勘定、その他の財務調整項目等は、事業別セグメント情報においては「その他」として表示されています。また営業目的で保有する投資持分証券の評価損益と、プライベート・エクイティ投資先企業等の連結/連結除外等による影響はセグメント情報には含まれておりません。
- (2) 当期の開示様式に合わせて過年度の数値を組み替えて表示しております。
- (3) 2006年1月より、その他の一部ビジネスをアセット・マネジメント部門に統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。
- (4) 2009年3月期第2四半期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスをその他のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門とその他の損益を過去に遡り組み替えております。

営業部門関連データ(1)

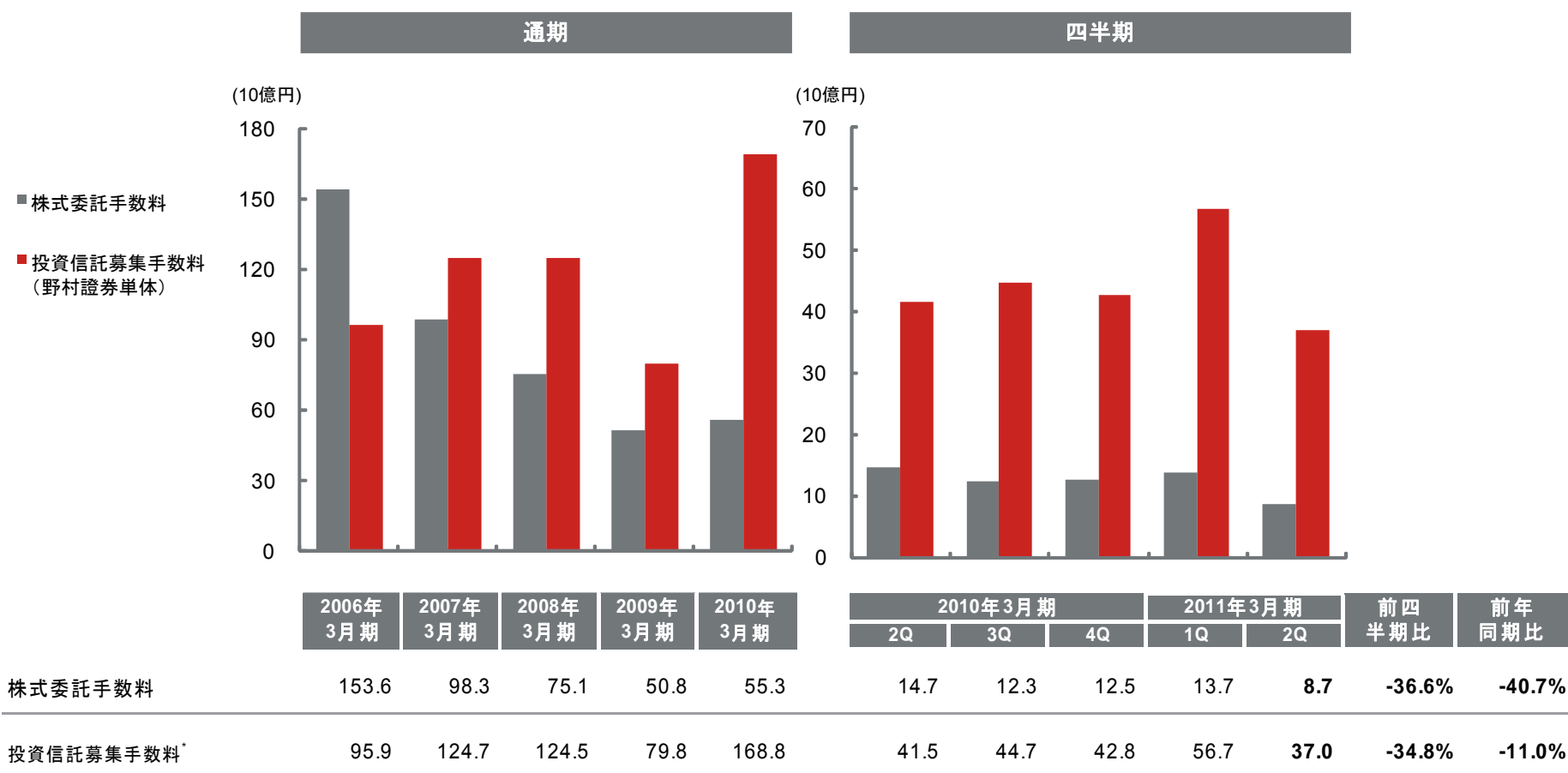
(単位:10億円)

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		前四 半期比	前年 同期比
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
委託・投信募集手数料	269.4	251.4	225.9	151.0	238.9	59.8	62.3	61.0	75.6	50.2	-33.7%	-16.1%
販売報酬	109.0	96.8	94.2	71.4	63.8	15.5	13.3	15.0	12.8	13.8	7.1%	-11.4%
投資銀行業務手数料	26.4	24.0	14.9	13.4	33.6	5.1	15.1	6.1	9.4	11.2	20.0%	119.3%
投資信託残高報酬等	34.4	47.5	59.7	50.9	47.3	11.8	12.1	12.3	12.1	11.8	-1.8%	0.5%
純金融収益等	7.4	20.4	7.3	5.2	4.7	0.9	1.5	1.1	1.0	0.7	-29.2%	-18.7%
収益合計(金融費用控除後)	446.5	440.1	402.0	291.9	388.3	93.2	104.3	95.5	111.0	87.8	-20.9%	-5.8%
金融費用以外の費用	249.3	279.3	279.7	273.6	274.9	66.8	69.1	71.5	73.2	65.0	-11.3%	-2.7%
税前利益	197.2	160.9	122.3	18.2	113.4	26.4	35.2	24.0	37.7	22.8	-39.6%	-13.6%
国内投信販売金額*(単位:10億円)			9,846.9	6,825.1	9,713.2	2,446.8	2,438.2	2,501.0	2,797.9	2,103.8	-24.8%	-14.0%
公社債投信			3,681.8	2,731.6	2,380.1	593.3	544.8	618.1	697.2	575.6	-17.4%	-3.0%
株式投信			4,816.1	2,969.3	6,165.7	1,595.4	1,602.7	1,542.6	1,729.1	1,207.4	-30.2%	-24.3%
外国投信			1,349.0	1,124.2	1,167.4	258.0	290.7	340.4	371.6	320.8	-13.7%	24.3%
その他(単位:10億円)												
年金保険契約累計額(期末)	683.3	990.4	1,205.3	1,413.3	1,609.2	1,507.0	1,542.5	1,609.2	1,633.3	1,652.0	1.1%	9.6%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	747.8	615.2	292.3	109.6	22.2	7.0	4.7	2.5	4.9	1.4	-71.0%	-79.6%
リテール外債販売額	1,119.2	677.1	954.0	867.4	1,080.3	252.6	215.3	323.9	411.0	437.6	6.5%	73.2%

* 野村証券単体ベース

営業部門関連データ(2)

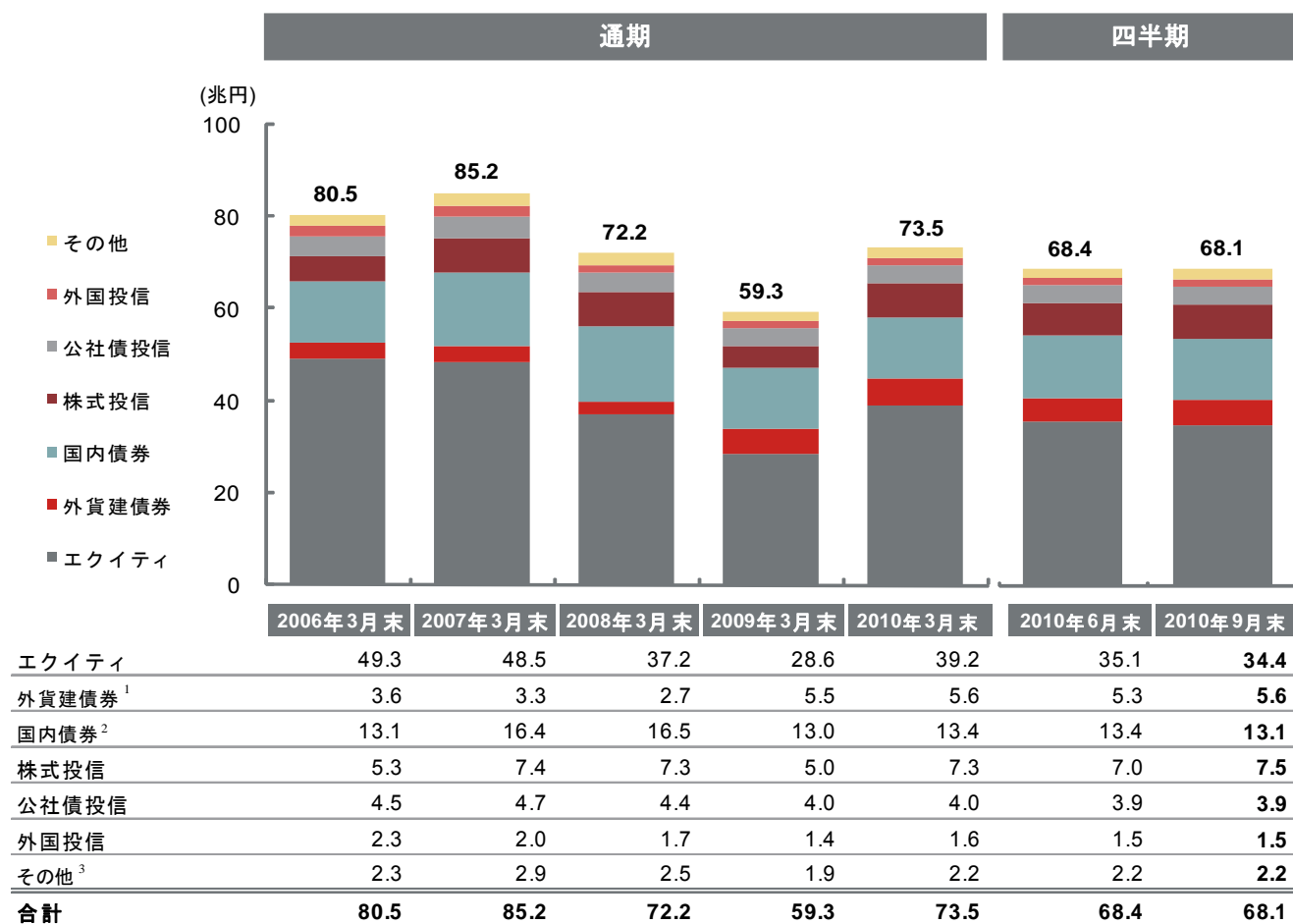
株式委託手数料と投資信託募集手数料*



* 野村証券単体ベース

営業部門関連データ(3)

営業部門顧客資産残高



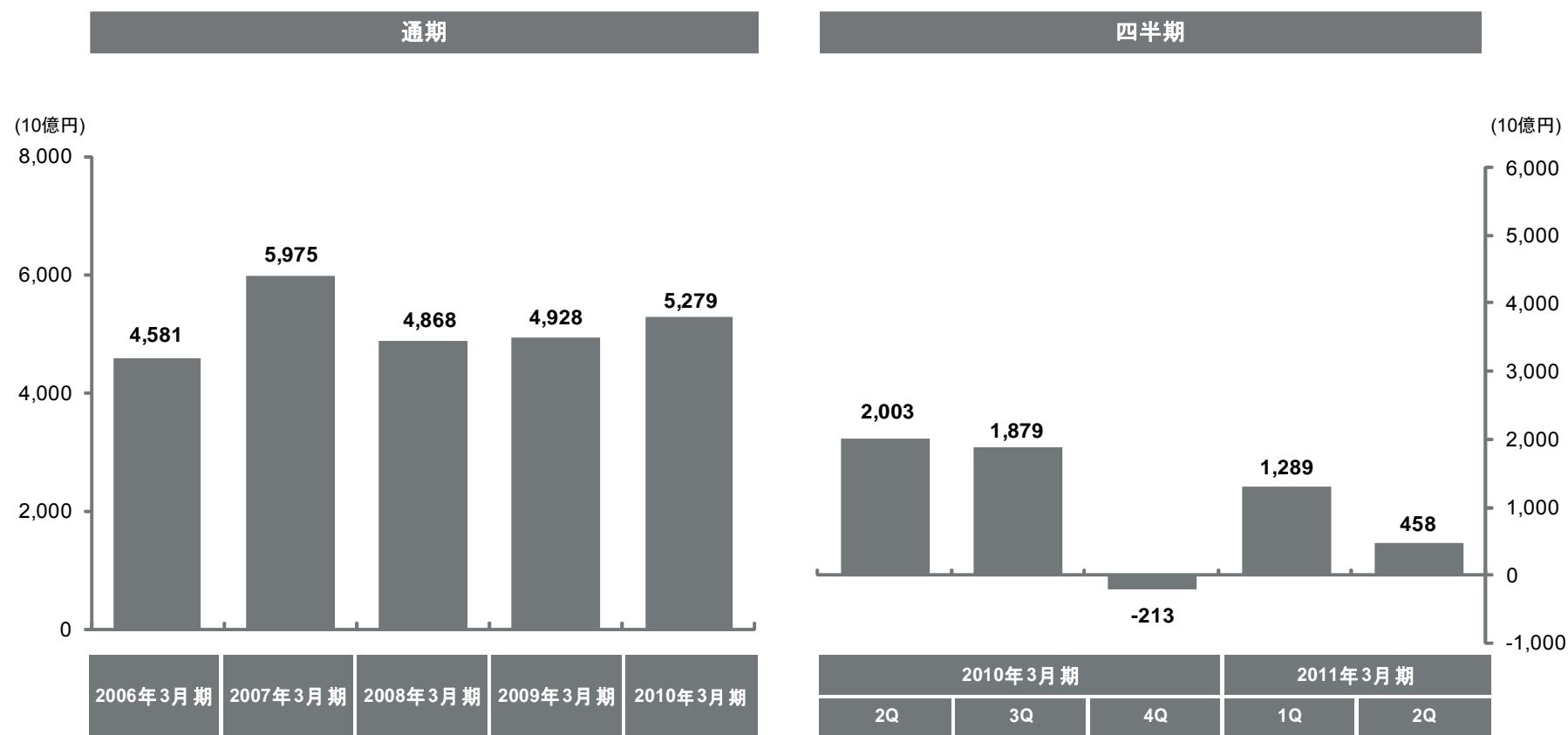
(1) 2009年3月期第3四半期よりユーロ円債の区分を国内債券から外貨建債券へと変更しました。

(2) CB・ワラントを含む

(3) 年金保険契約資産残高を含む

営業部門関連データ(4)

営業部門顧客資産純増¹



(1) 地域金融機関分を除く

注: 資産純増 = 資産流入額 - 資産流出額

営業部門関連データ(5)

口座数・IT比率¹

(単位:千口座)

	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末	2010年 9月末
残あり顧客口座数	3,780	3,953	4,165	4,467	4,883	4,894	4,923
株式保有口座数	1,745	1,853	2,027	2,347	2,572	2,573	2,598
ホームトレード口座数	1,969	2,243	2,765	3,095	3,189	3,235	3,277

	通期					四半期				
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期	
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
個人新規開設口座数 (単位:千)	343	417	580	608	336	71	74	126	93	88
IT比率*										
売買件数ベース	55%	55%	57%	59%	58%	60%	56%	55%	57%	52%
売買金額ベース	27%	27%	29%	29%	29%	29%	26%	28%	30%	26%

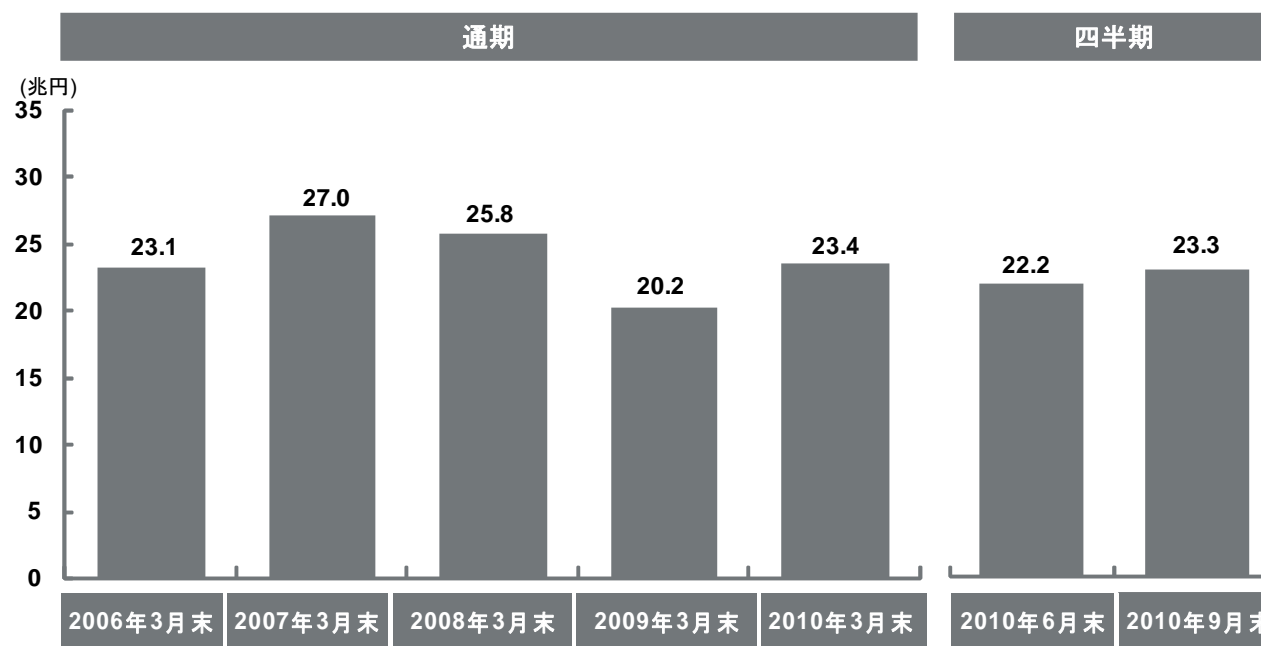
(1) IT比率は現物株と株式ミニ投資の合計においてホームトレードとテレフォンアンサーで売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(単位:10億円)	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		前四 半期比	前年 同期比
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	64.1	88.1	88.7	59.8	70.4	16.5	17.2	18.0	18.1	19.3	6.5%	17.2%
金融費用以外の費用	40.3	48.7	54.8	52.4	51.8	12.0	13.2	13.1	13.2	14.1	6.5%	17.4%
税前利益	23.8	39.4	34.0	7.4	18.6	4.5	4.1	4.9	4.9	5.2	6.6%	16.7%

- (1) 2006年1月より、「その他」の一部ビジネスをアセット・マネジメント部門に統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。
 (2) 2009年3月期第2四半期において、アセット・マネジメント部門の確定拠出年金ビジネスを「その他」のビジネスに統合いたしました。これに伴い、アセット・マネジメント部門の損益を過去に遡り組み替えております。

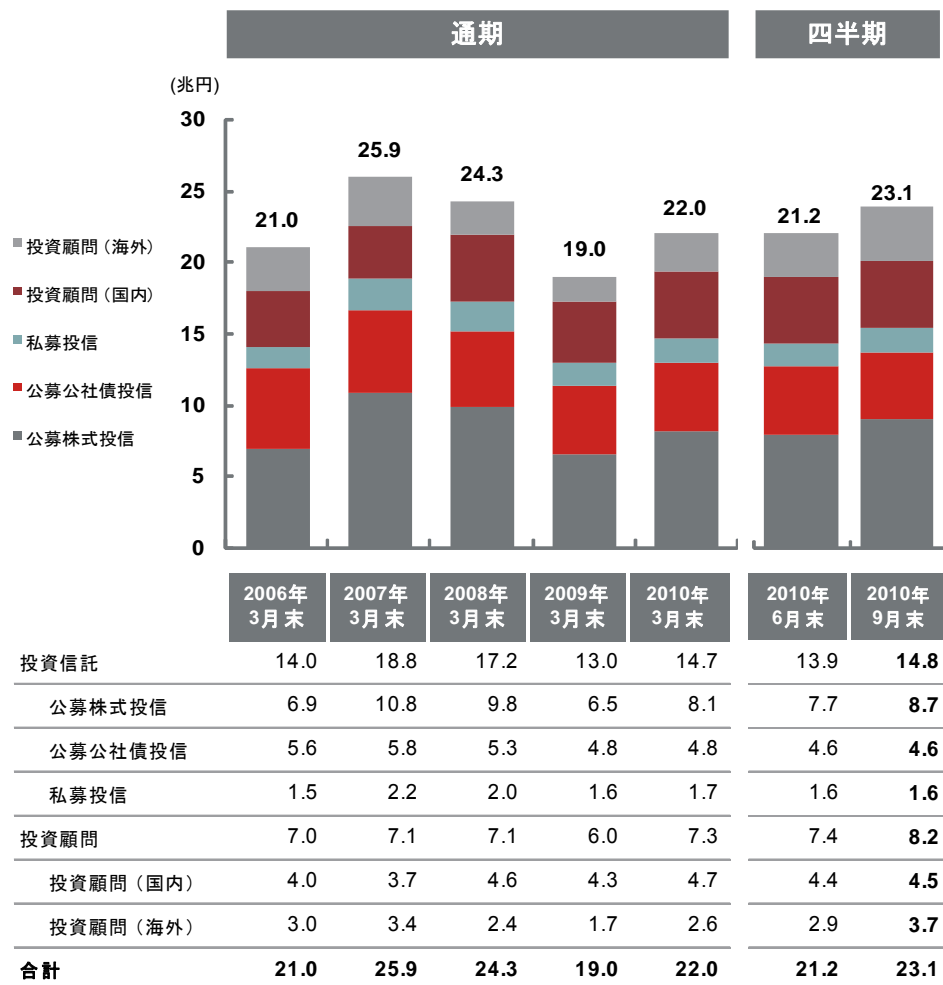
アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・アセット・マネジメント・ドイチェランド、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカ、プライベート・エクイティ・ファンド・リサーチ・アンド・インベストメンツの各運用資産の合計。グループ運用会社間の重複資産調整後。2006年3月末までの数値については、野村ブラックロック・アセット・マネジメントの運用資産を含む

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

野村アセットマネジメント単体 運用資産残高



国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア

	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	2009年 3月末	2010年 3月末	2010年 6月末	2010年 9月末
(単位:兆円)							
国内公募株式投信残高							
マーケット	45.0	59.4	57.7	40.4	52.6	48.6	51.8
野村アセットマネジメントシェア(%)	15%	18%	17%	16%	15%	16%	17%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	13.5	13.2	12.0	11.1	11.1	10.8	10.7
野村アセットマネジメントシェア(%)	42%	44%	44%	43%	43%	43%	42%

(出所) 投資信託協会

野村アセットマネジメント単体 投資信託資金流入

	通期					四半期				
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期	
						2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
(単位:兆円)										
公募株式投信	1.0	3.8	2.0	0.0	-0.2	0.3	-0.5	-0.1	0.5	0.8
除くETF	1.4	3.7	1.8	-0.4	0.0	0.2	-0.3	-0.2	0.6	0.4
公募公社債投信	0.0	0.2	-0.5	-0.5	-0.0	0.1	-0.1	-0.0	-0.2	-0.0
私募投信	0.5	0.7	0.2	0.1	-0.2	-0.1	0.0	-0.1	-0.0	-0.0
資金流入計	1.5	4.6	1.7	-0.4	-0.4	0.3	-0.6	-0.2	0.3	0.7

ホールセール部門関連データ(1)

ホールセール部門

(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
グローバル・マーケット	-157.3	658.4	174.5	163.9	133.0	96.4	144.4	49.7%	-17.3%
インベストメント・バンキング	-6.4	131.1	24.8	46.2	35.5	12.2	19.0	56.3%	-23.2%
収益合計(金融費用控除後)	-163.6	789.5	199.3	210.1	168.4	108.6	163.4	50.5%	-18.0%
金融費用以外の費用	553.7	614.3	161.1	161.6	133.2	149.8	155.8	4.0%	-3.3%
税前利益/損失	-717.3	175.2	38.2	48.5	35.2	-41.1	7.6	-	-80.0%

グローバル・マーケット

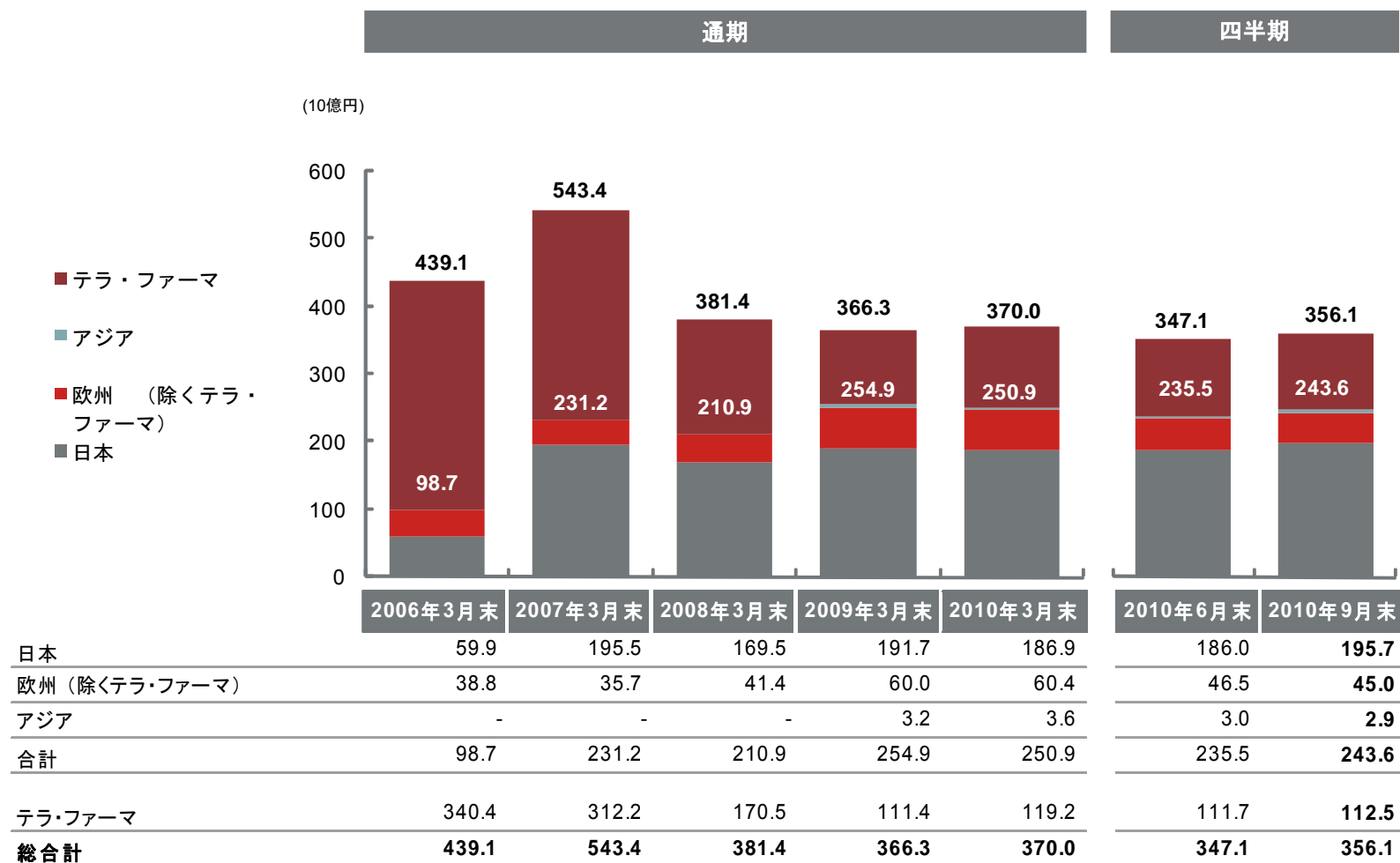
(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
フィクスト・インカム	-217.2	308.0	76.6	70.5	55.6	41.0	77.8	89.9%	1.6%
エクイティ	98.9	352.8	93.4	90.1	76.5	46.3	55.2	19.2%	-40.9%
その他	-38.9	-2.4	4.6	3.2	0.9	9.2	11.4	24.1%	149.7%
収益合計(金融費用控除後)	-157.3	658.4	174.5	163.9	133.0	96.4	144.4	49.7%	-17.3%
金融費用以外の費用	417.4	486.4	127.8	130.8	103.0	122.8	123.2	0.4%	-3.6%
税前利益/損失	-574.6	172.0	46.7	33.1	30.0	-26.3	21.1	-	-54.7%

インベストメント・バンキング

(単位:10億円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2010年3月期			2011年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
インベストメント・バンキング(グロス)	87.6	196.1	33.2	81.7	43.3	29.0	39.7	36.7%	19.8%
その他部門等へのアロケーション	13.4	77.2	12.2	37.2	15.4	13.2	18.7	41.1%	52.7%
インベストメント・バンキング(ネット)	63.5	118.9	20.9	44.5	27.8	15.8	21.1	33.1%	0.5%
その他	-69.9	12.2	3.9	1.8	7.6	-3.6	-2.0	-	-
収益合計(金融費用控除後)	-6.4	131.1	24.8	46.2	35.5	12.2	19.0	56.3%	-23.2%
金融費用以外の費用	136.3	127.9	33.3	30.8	30.2	27.0	32.5	20.5%	-2.2%
税前利益/損失	-142.7	3.2	-8.5	15.4	5.2	-14.8	-13.5	-	-

ホールセール部門関連データ(2)

プライベート・エクイティ関連投資残高



(1) 日本の残高は野村プリンシパル・ファイナンス(NPF)、野村フィナンシャル・パートナーズ(NFP)及び野村リサーチ・アンド・アドバイザリー(NR&A)等の合計
 (2) 欧州の残高(テラ・ファーマ除く)はPrivate Equity Group(PEG)及びNomura Phase4 Ventures(NPV)等の合計

人員数

	2006年3月末	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年6月末	2010年9月末
日本(FA除く) ¹	9,618	10,667	11,561	12,929	12,857	13,370	13,259
FA社員 ²	1,948	2,174	2,377	2,391	2,196	2,184	2,142
欧州	1,515	1,791	1,956	4,294	4,369	4,499	4,471
米州	1,073	1,322	1,063	1,079	1,781	1,941	2,186
アジア・オセアニア ³	778	900	1,070	4,933	5,171	5,399	5,371
合計	14,932	16,854	18,026	25,626	26,374	27,393	27,429

(1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない

(2) 2008年3月末までの人員数にはSA社員の人員数が含まれております。

(3) インド(ボワイ・オフィス)を含む

注: 2007年9月より、一部の有期雇用社員を人員数に含める事としました。これに伴い、人員数を過去に遡り組替えております。

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/